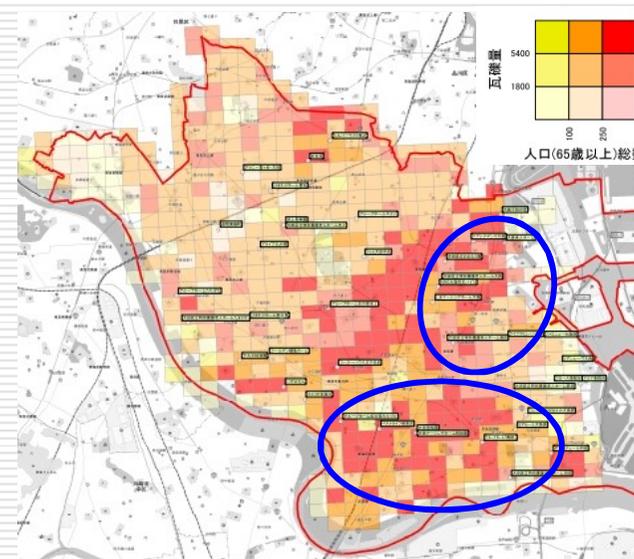


永田 尚人客員教授(建設マネジメント) [(株)熊谷組]

震災廃棄物の都市生活環境への影響について検討する

首都直下地震では、最大約9,600万トンもの震災廃棄物の発生が想定されている。東日本大震災でもみられるように、このような膨大な震災廃棄物の処理の遅延は、地域へのダメージだけでなく、市民の環境衛生へも大きな影響を与える。災害時における都市生活環境への影響について検討を行う。



(例) 震災廃棄物発生量と高齢者人口の関連性